

**平成18年3月期中間決算説明会  
決算短信補足資料  
【連結・単独】**

**平成17年12月8日(木)  
石光商事株式会社  
(証券コード:2750 JASDAQ)**

# 目次

- ・ 会社概要
- ・ 平成18年3月期中間決算の概況
- ・ 主要商品の概況(単独)
- ・ 平成18年3月期 通期の見通し
- ・ 石光商事とは？
- ・ 石光商事の事業戦略

# ・ 会社概要

常務取締役管理部門長兼経営企画室長  
久保 潤一

# 1. 会社概要

社 名 : 石光商事株式会社 (S.ISHIMITSU & CO.,LTD.)  
本 社 : 神戸市  
代 表 者 : 代表取締役会長 代表取締役副会長 代表取締役社長  
石光輝男 駒澤啓之 森本 茂

創 業 者 : 石光季男  
創 立 : 1906年7月 ロサンゼルスにて  
設 立 : 1951年5月  
売 上 高 : 34,166百万円 (平成17年3月期連結)  
経 常 利 益 : 1,356百万円 (平成17年3月期連結)  
当 期 純 利 益 : 416百万円 (平成17年3月期連結)  
従 業 員 数 : 226人 (平成17年3月末連結)  
主 要 業 務 : コーヒーを中心とする食品販売事業  
関 係 会 社 : 連結子会社5社、持分法適用関連会社1社

## 2. 沿革

- ◆ 1906年 : 創業者が単身渡米、ロサンゼルスにおいて食料品販売業を創業
- ◆ 1922年 : 対日貿易量の増大にともない本店を神戸に移す
- ◆ 1941年 : 戦争激化により休業。海外資産没収
- ◆ 1951年 : 貿易再開と同時に神戸にて株式会社石光季男商店を設立
- ◆ 1963年 : 石光商事株式会社と改称
- ◆ 1972年 : 東京アライドコーヒースターズ(株)設立(東京地区取引先との共同出資)
- ◆ 1973年 : 関西アライドコーヒースターズ(株)設立(関西地区取引先との共同出資)
- ◆ 1999年 : 神戸市灘区にて本社新社屋ビルが完成、移転
- ◆ 2002年 : 組織改革 チーム制の導入  
JASDAQ市場に上場
- ◆ 2004年 : 人事制度改革、情報システム再構築へ着手  
安全な食品の提供(研究開発室・品質保証室の強化)
- ◆ 2005年 : 新人事制度の導入
- ◆ 2006年 : 創業100周年を迎える



# 3. 石光商事グループ



石光商事株式会社

関西アライドコーヒー  
ロースターズ(株)  
(神戸)

レギュラーコーヒーの  
焙煎・加工・販売  
(出資比率 64%)

東京アライドコーヒー  
ロースターズ(株)  
(東京)

レギュラーコーヒーの  
焙煎・加工・販売  
(出資比率 39%)

キング珈琲(株)  
(札幌)

レギュラーコーヒーの焙煎・  
販売及び食品の販売  
(出資比率 92%)

ユーエスフーズ(株)  
(東京)

コーヒー生豆の小分け販売  
(出資比率 100%)

岩屋サービス(株)  
(神戸)

運送業  
(出資比率 83%)

シーカフェ(株)  
(東京)

イタリアレストランの経営  
(出資比率 100%)

関西アライドコーヒーロースターズ(株)



キング珈琲(株)



岩屋サービス(株)

(当社物流センター内)



イタリアレストラン“イバルバロ”



東京アライドコーヒーロースターズ(株)



ユーエスフーズ(株)



ピッツェリア“バッコ”



# . 平成18年3月期中間 決算の概況

## 4. 当中間決算(連結)のポイント

1. 売上高は予想を下回るも、前年同期比では増加。

しかし、コーヒー相場高騰によるコストアップ要因等により売上総利益率低下 営業利益が減少。

2. クーポンスワップ評価益(長期為替予約であるクーポンスワップの期末時価評価益)を営業外収益に計上する結果、経常利益・中間純利益は大幅増加。(前期末(H17-3)に監査法人の指導により会計処理をヘッジ会計から時価会計に移行したことによる、前期末は特別損失にて

831百万円計上)

3. コーヒー生豆の売上高は相場上昇により増加。

4. 冷凍食品(輸入水産加工品・輸入調理加工品)の売上は増加。



# 5. 平成18年3月期中間決算(連結)の概要



石光商事株式会社

## 実績と前期比

(百万円)

	17年3月期		18年3月期 中間予想 (5/16)	18年3月期 中間実績	増減率	
	中間	通期			前期比	予想比
売上高	16,535	34,166	17,941	17,554	6.2%	-2.2%
売上総利益	2,384	4,836	2,406	2,228	-6.6%	-7.4%
営業利益	506	1,059	451	279	-44.8%	-38.0%
経常利益	677	1,356	570	1,096	61.9%	92.3%
当期純利益	468	416	390	679	45.1%	73.9%
E P S (円)	58.61	52.07	48.90	85.06	45.1%	73.9%
R O E (%)	6.9	6.2	—	9.5	—	—

## 6. 平成18年3月期中間決算 特記事項

### クーポンスワップ評価益の発生

前期末、クーポンスワップ時価評価損を特別損失にて831百万円計上。その後円安がすすんだこと等により9月末評価損は 230百万円に。  
601百万をクーポンスワップ評価益として営業外収益に計上  
経常利益/中間純利益が大幅増加。

\* クーポンスワップ・・・長期為替予約の一種

¥と\$の金利部分のみを毎月交換する契約。

100万\$ / 月、交換レートは@102.47、残存年数 7年。

減損損失 56百万円 (特別損失)

札幌支店 土地(335.50m<sup>2</sup>)

建物(延べ床面積 291.59m<sup>2</sup>)

( 以上で減損は終了)

# 7. 品目別売上状況(連結)前期比



石光商事株式会社

## 実績と前期比

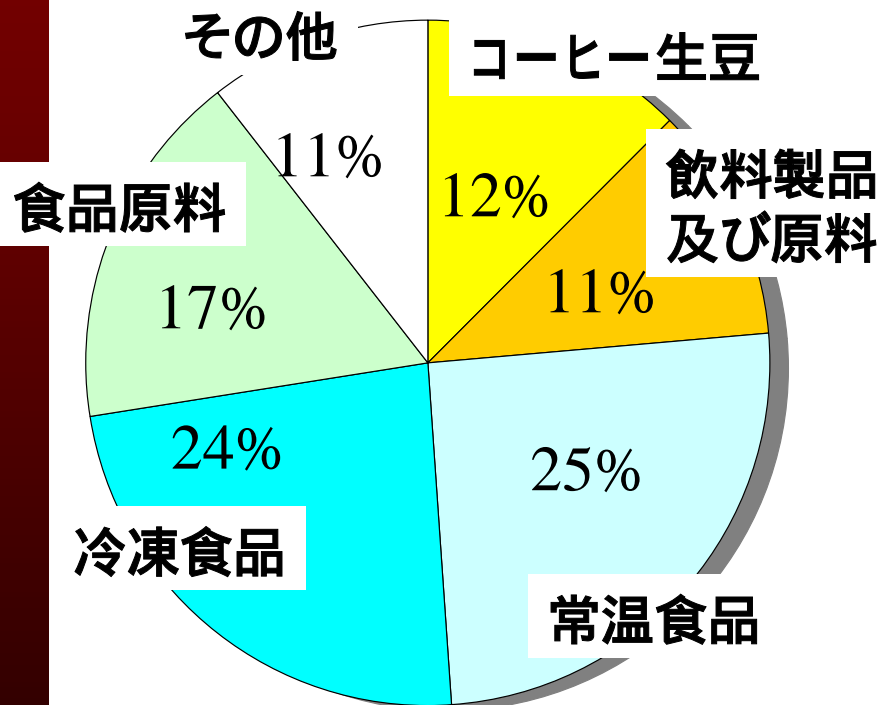
(百万円)

	平成17年3月期					平成18年3月期中間		
	中間		通期			売上高		
	金額	構成比	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同比
コーヒー生豆	1,873	11.4%	3,859	11.3%	1.5%	2,188	12.5%	16.8%
飲料製品 及び原料	1,888	11.4%	4,028	11.8%	3.2%	1,966	11.2%	4.2%
常温食品	4,468	27.0%	8,631	25.2%	1.0%	4,404	25.1%	-1.4%
冷凍食品	3,805	23.0%	7,983	23.4%	18.1%	4,154	23.7%	9.2%
食品原料	2,790	16.9%	6,488	19.0%	5.9%	2,970	16.9%	6.5%
その他	1,708	10.3%	3,175	9.3%	9.2%	1,869	10.6%	9.5%
合計	16,535	100.0%	34,166	100.0%	6.6%	17,554	100.0%	6.2%

# 8. 品目別売上・売上総利益(連結)

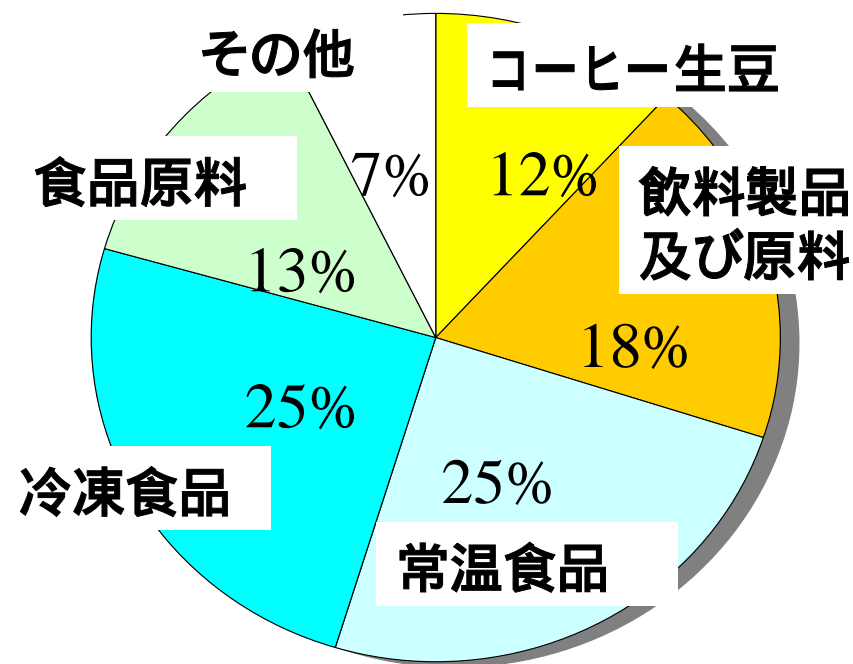
平成18年3月期中間(連結)

売上高構成比



平成18年3月期中間(連結)

売上総利益構成比



・飲料製品及び原料、冷凍食品・・・利益率が高い。

# 9. 中間連結貸借対照表 概要



石光商事株式会社

(百万円)

科目	H16年9月	H17年9月	増減	科目	H16年9月	H17年9月	増減
<b>流動資産</b>	10,506	11,067	561	<b>流動負債</b>	7,081	7,236	155
現金及び預金	1,694	1,605	89	仕入債務	3,220	3,234	14
売上債権	5,020	5,101	80	借入金	1,852	1,847	5
たな卸資産	3,302	3,981	679	未払金	946	993	47
その他	489	380	108	未払法人税等	198	413	214
<b>固定資産</b>	6,178	6,210	31	その他	863	747	115
有形固定資産	2,804	2,714	89	<b>固定負債</b>	2,501	2,442	59
無形固定資産	8	13	4	長期借入金	1,461	1,500	39
投資その他の資産	3,365	3,482	116	その他	1,040	941	99
				<b>負債合計</b>	9,582	9,679	96
				少数株主持分	184	187	3
				<b>資本合計</b>	6,917	7,411	493
				資本金	623	623	0
				資本剰余金	357	357	0
				利益剰余金	5,898	6,366	467
				その他有価証券 評価差額金	43	69	26
				自己株式	4	4	0
<b>資産合計</b>	16,684	17,278	593	<b>負債・資本合計</b>	16,684	17,278	593

・棚卸資産 増加要因

    コーヒー生豆 469百万円

    輸入未着商品 51百万円

・未払法人税等 214百万円増加

\* 株主資本比率

16/9

17/9

41.5%

42.9%

# 10. 中間連結CF計算書 概要



石光商事株式会社

(百万円)

	平成15年上期	平成16年上期	平成17年上期
営業活動によるキャッシュフロー	314	197	745
投資活動によるキャッシュフロー	31	53	18
財務活動によるキャッシュフロー	31	130	972
換算差額	16	2	12
現金及び現金同等物の増減額	298	15	196
現金及び現金同等物の期首残高	1,681	1,603	1,716
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,980	1,619	1,520

仕入債務の増減額	439	407	505
たな卸資産の増減額	93	570	312
手形割引高	984	1,319	1,308

# 11. TACRの業績推移

東京アライドコーヒーロースターズ(株)



石光商事株式会社

## 実績と前年同期比

(百万円)

	平成16年12月期		平成17年 12月期中間	対前年同期 増減率	平成17年12 月期予想	対前年同期 増減率
	中間期	通期				
売上高	4,439	8,638	4,233	-4.63%	8,500	-1.6%
当期純利益	491	740	413	-15.83%	667	-9.9%
当社持分比率	38.01%	38.01%	39.64%	-	39.64%	-
当社持分法による 投資損益	186	266	164	-12.22%	264	-0.8%
持分変動による 投資損益等	-	50	-	-	-	-
投資損益合計	186	316	164	-12.22%	264	-16.6%

(注) 当社のTACR(東京アライドコーヒーロースターズ(株))に対する平成17年9月30日の持分比率は39.64%です。

# 12. 連単倍率



石光商事株式会社

## 単体実績と連単倍率

(単位:百万円,倍)

	平成17年3月期						平成18年3月期		
	中間			通期			中間		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	16,535	16,300	1.0	34,166	33,686	1.0	17,554	17,370	1.0
売上総利益	2,384	2,175	1.1	4,836	4,423	1.1	2,228	2,028	1.1
営業利益	506	456	1.1	1,059	964	1.1	279	234	1.2
経常利益	677	464	1.5	1,356	1,026	1.3	1,096	912	1.2
当期純利益	468	271	1.7	416	115	3.6	679	510	1.3
E P S(円)	58.61	34.01		52.07	14.42		85.06	63.84	



## ・ 主要商品の概況(単独)

売上高の連単倍率は1.0倍でありますので、  
主要の商品の概況につきましては単独で、  
ご説明申し上げます。

# 13. コーヒー生豆・RC・IC・紅茶の販売状況(単独)

- ・RC(レギュラーコーヒー)・・・OEM(袋入り)商品減少分をコーヒーバッグがカバー
- ・IC(インスタントコーヒー)・・・輸入製品の減少
- ・茶類・・・原料用緑茶等の増加

## 実績と前年同期比

(百万円)

	平成17年3月期				平成18年3月期中間		
	上期 売上高	前年 同期比	通期 売上高	前年 同期比	売上高	前年同期比	
						金額	増減率
コーヒー生豆	1,798	0.2%	3,789	2.0%	2,122	323	18.0%
コーヒー生豆 数量 (千袋)	147	-2.2%	293	-2.0%	144	3	-2.6%
RC	593	-11.1%	1,197	-8.4%	592	1	-0.2%
IC	450	5.0%	884	-4.6%	393	57	-12.7%
紅茶他茶類等	638	12.1%	1,467	21.4%	711	74	11.5%

\* コーヒー生豆の販売数量には、子会社への有償支給分を含んでおります。

# 14. イタリア食材の販売状況(単独)

- ・ユーロ高の影響
- ・取引先であるイタリアパスタメーカー倒産の影響によりパスタ大幅減少  
昨年秋から再生      今期下期より順調な回復へ

## 輸入パスタ・オリーブオイルの実績と前年同期比

(百万円)

	平成17年3月期				平成18年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比		金額	増減率
輸入パスタ	224	-11.1%	366	-28.8%	158	65	-29.3%
オリーブオイル	158	2.8%	309	-1.8%	169	10	6.9%
生ハム・チーズ	45	7.8%	86	7.3%	49	4	9.1%
合計	428	-4.5%	762	-16.3%	378	50	-11.8%

# 15. 冷凍水産加工品の販売状況(単独)



石光商事株式会社

・タコ類 メーカー向け販売好調

実績と前年同期比

(百万円)

	平成17年3月期				平成18年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比		金額	増減率
エビ類	1,132	28.9%	2,306	23.1%	1,127	5	-0.5%
タコ類	324	14.9%	704	31.2%	430	105	32.6%
その他水産品	122	44.8%	183	17.8%	75	46	-38.3%

# 16. 冷凍調理加工品の販売状況(単独)

- ・大地の鶏 好調
- ・新商品の積極的開発 (お好み焼き、フランクソーセージ等)

冷凍調理加工品の実績

(百万円)

	平成17年3月期		平成18年3月期中間		
	中間	通期	売上高	前年同期比	
	売上高	売上高		金額	増減率
鶏唐揚げ	65	170	129	64	97.5%
白身魚フライ	47	84	47	0	-0.8%
お好み焼類	3	24	37	34	945.4%
ポークカツ類	11	23	11	0	-0.4%
八幡巻	8	34	17	9	106.0%
ロールキャベツ	12	31	17	5	42.6%
フランクソーセージ	1	11	12	10	592.3%
その他	79	149	92	12	15.7%
合計	230	528	366	135	58.5%

# ・平成18年3月期 業績見通し

## 17. H18年3月期見通しの背景

1. コーヒー生豆は増収であるが、コーヒー相場高騰の影響によるコストアップにより、利益率低下。
2. (RC)コーヒータグ順調に増加、OEM製品は減少。  
緑茶等原料は需要増で増加。
3. 常温食品は、イタリア食品回復。  
食品輸出も、販路拡大で販売増。
4. 冷凍食品の輸入水産加工品・輸入調理加工品は、  
増加の予想。
5. 全社的には、引き続き、競争激化により利益率は厳しい。

# 18. 業績予想(連結 品目別)



コーヒー生豆・売上高はコーヒー生豆相場の上昇により増収の予想  
 冷凍食品・輸入水産加工品・輸入調理加工品が増収の予想

(百万円)

	平成17年3月期				平成18年3月期			
	売上高		前期比		売上高		前期比	
	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	増減率
コーヒー生豆	3,859	11.3%	56	1.5%	4,190	11.8%	330	8.6%
飲料製品 及び原料	4,028	11.8%	123	3.2%	4,157	11.7%	129	3.2%
常温食品	8,631	25.2%	85	1.0%	8,851	24.9%	220	2.5%
冷凍食品	7,983	23.4%	1,221	18.1%	8,477	23.9%	493	6.2%
食品原料	6,488	19.0%	363	5.9%	6,582	18.5%	93	1.4%
その他	3,175	9.3%	266	9.2%	3,242	9.1%	67	2.1%
合計	34,166	100.0%	2,117	6.6%	35,501	100.0%	1,335	3.9%



# 19. 業績予想(連結)



中間期・クーポンスワップ評価益により経常利益・当期純利益は予想を上回った。  
 通期業績予想・11/14に修正。為替レート等が9月末と不変を前提とし、中間期の  
 クーポンスワップ評価益を織り込んで予想。

(百万円)

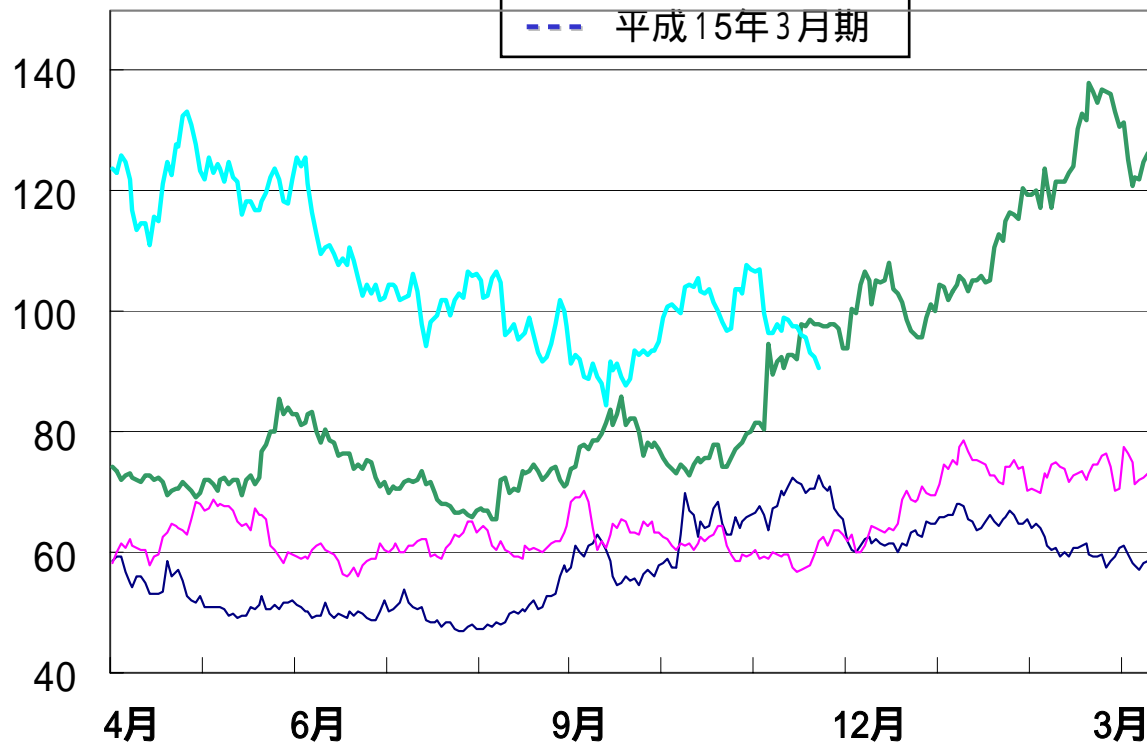
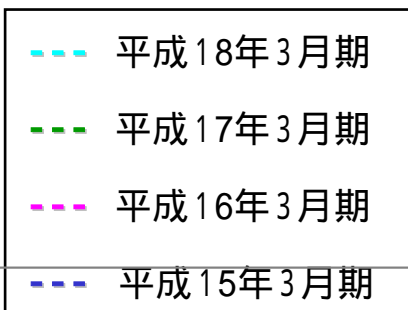
	平成17年3月期		平成18年3月期			
	実績	増減率	上期 実績	通期 予想	前期比	
					金額	比率
売上高	34,166	6.6%	17,554	35,501	1,335	3.9%
売上総利益	4,836	-1.1%	2,228	4,572	263	-5.5%
営業利益	1,059	-21.3%	279	676	383	-36.2%
持分法による 投資利益	316	122.9%	164	264	52	-16.6%
経常利益	1,356	-5.3%	1,096	1,528	172	12.7%
当期純利益	416	-51.0%	679	896	480	115.2%
E P S(円)	52.07	-48.6%	85.06	112.23	60.16	115.5%

# 20. NYコーヒー価格の推移



(セント/ポンド)

(1ポンド 0.453Kg)



(出所) ニューヨーク商品取引所 先物期近銘柄

ニューヨーク先物期近銘柄  
終値 月平均推移(セント/ポンド)

	H16/4 ~ H17/3
H16/4月	70.23
5月	72.60
6月	77.85
7月	69.42
8月	67.78
9月	75.90
上期平均	72.26
10月	75.86
11月	84.25
12月	99.01
H17/1月	101.53
2月	113.85
3月	127.83
下期平均	100.51
	H17/4 ~ H18/3
H17/4月	120.81
5月	119.52
6月	112.33
7月	101.53
8月	99.64
9月	91.64
上期平均	107.54
10月	99.72
11月	100.24

# 20-1. 中期経営計画(連結)の概要

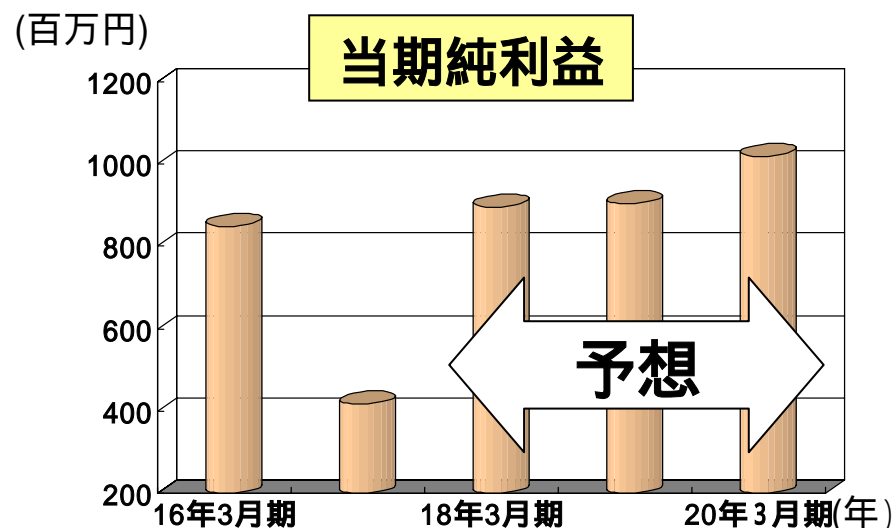
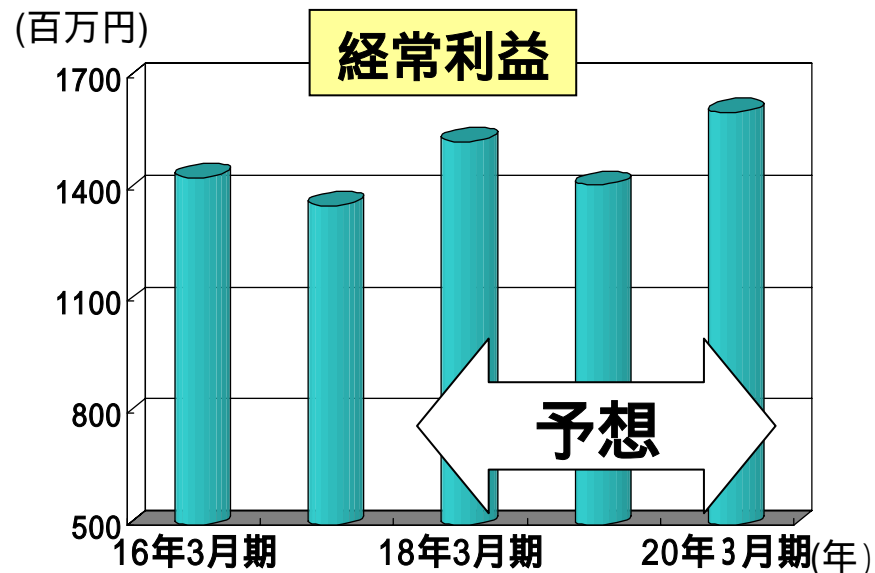
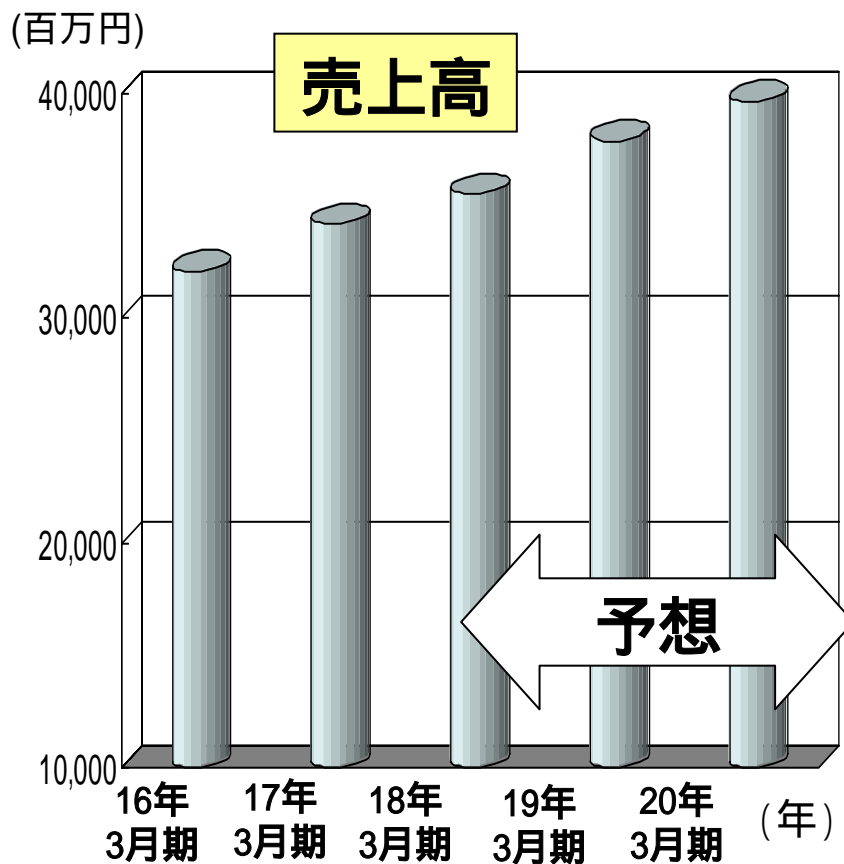


石光商事株式会社

	18年3月期			19年3月期			20年3月期		
	金額	前期比		金額	前期比		金額	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	35,501	1,335	3.9%	37,885	2,383	6.7%	39,613	1,728	4.6%
売上総利益	4,572	-263	-5.5%	5,140	567	12.4%	5,379	239	4.6%
営業利益	676	-383	-36.2%	1,221	545	80.6%	1,405	183	15.1%
経常利益	1,528	172	12.7%	1,411	-117	-7.7%	1,606	195	13.8%
当期純利益	896	480	115.2%	903	7	0.8%	1,019	115	12.8%
E P S (円)	112.23	60.16	115.5%	113.00	0.87	0.8%	127.60	14.50	12.8%

2006年春、新たに中期経営計画を策定する予定

# 20-2. 中期経営計画(連結)



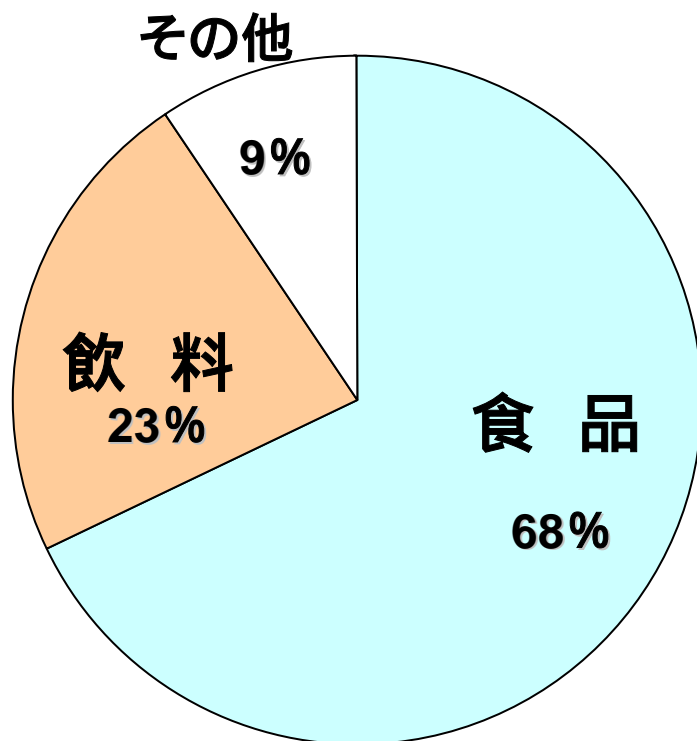
# ・ 石光商事とは？

代表取締役 社長  
森本 茂

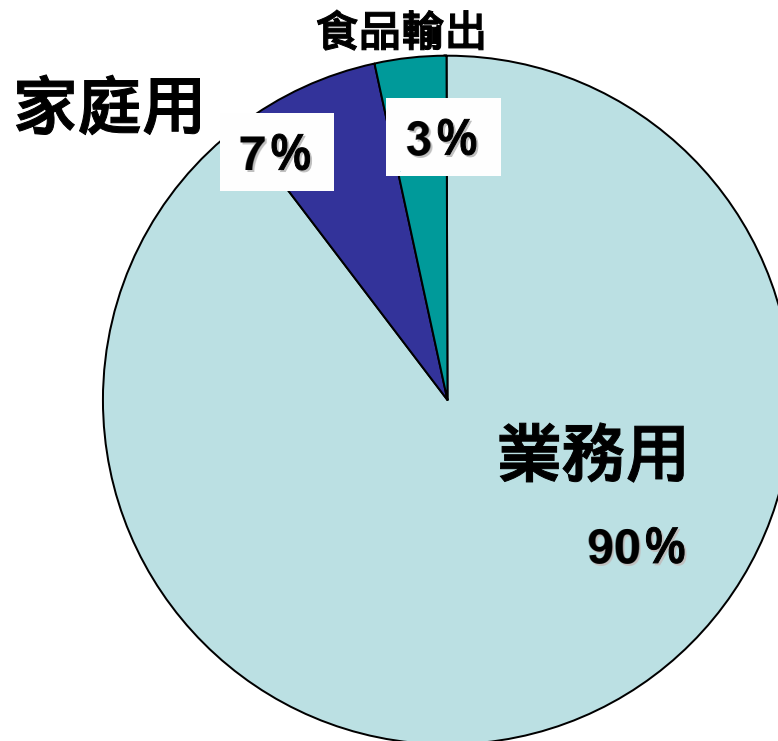
# 21. 食べ物を扱う会社です

売上高に占める飲食料品割合 約91%

飲食料品における家庭用・業務用の比率

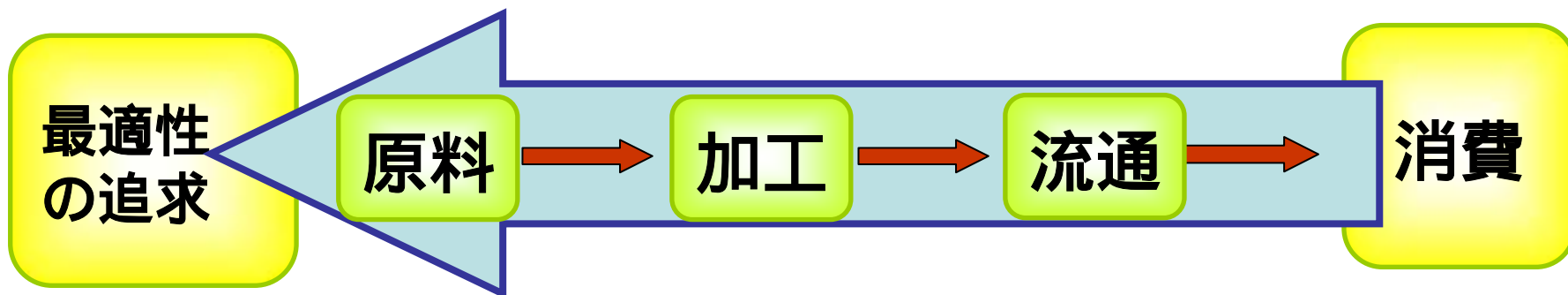


飲料と食品の2本柱



H17年3月期 単体売上高実績より

## 22.マーチャндаイジングに強い会社です



原料の選定から最終商品の提供まで一貫した最適性を備えた商品開発に取り組みます。

# 23-1.原料に強いマーチャンダイザーです ~コーヒー~





# 23-2.原料に強いマーチャンダイザーです ~ 食品 ~



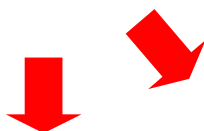
トマト



ホールトマト



トマトペースト



トマトソース



トマトケチャップ



ソース



エビ



すし用



フライ用



プリプリエビ



用途別/使い易いように現地で加工

# 24. 1906年ロスで創業、 パイオニア精神溢れるスペシャリスト集団です

\* 溢れるパイオニア精神、可能性に挑戦

\* 専門分野を深耕するスペシャリスト集団



NZの食品展示会にて  
お好み焼きの実演



野菜畑で  
検品/中国



創業/ロサンゼルス店前にて



紅茶検品/インド



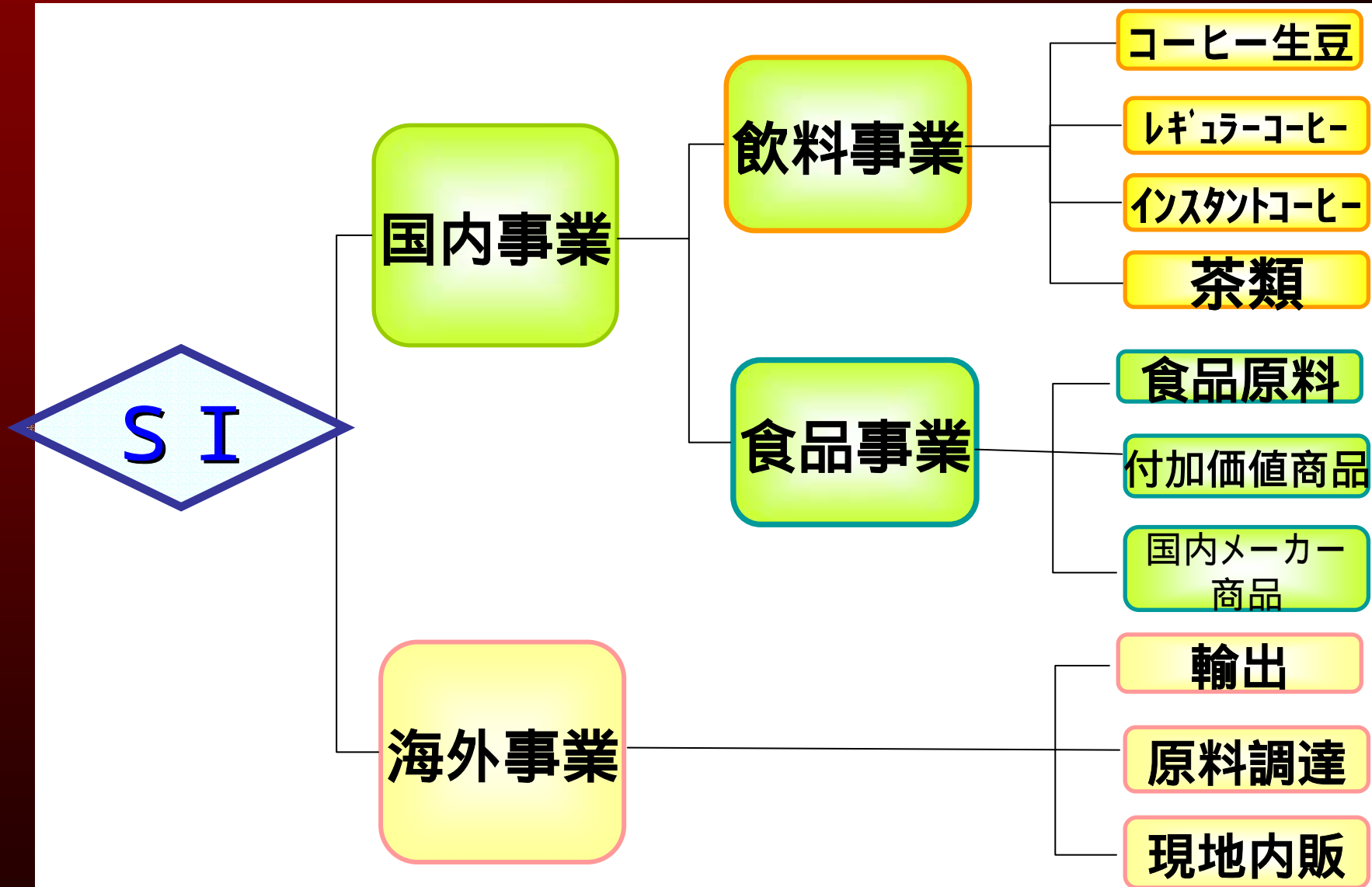
エビ検品  
/ベトナム



コーヒーカップテスト/社内

# ・ 石光商事の事業戦略

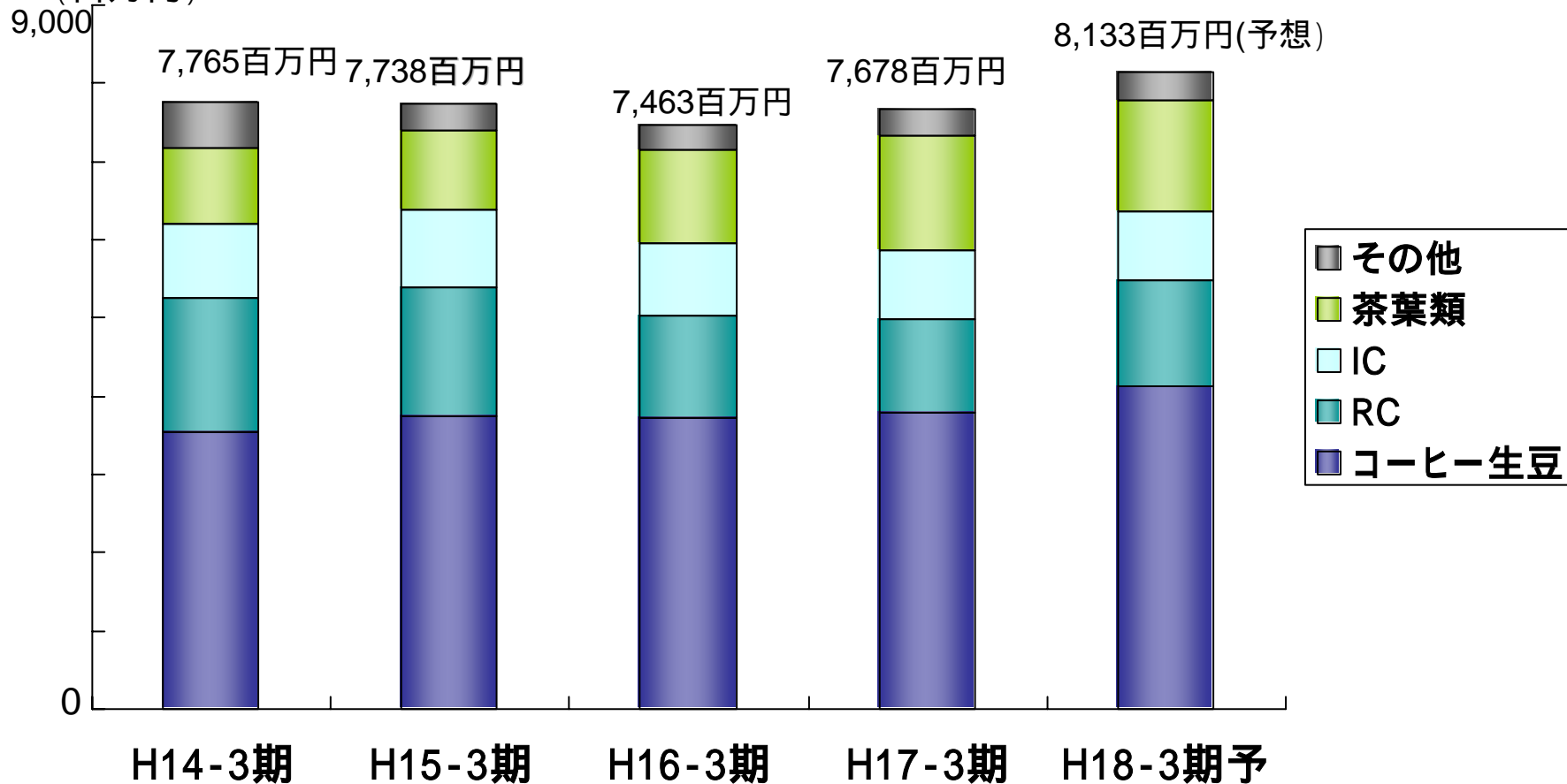
# 25. 事業の概要



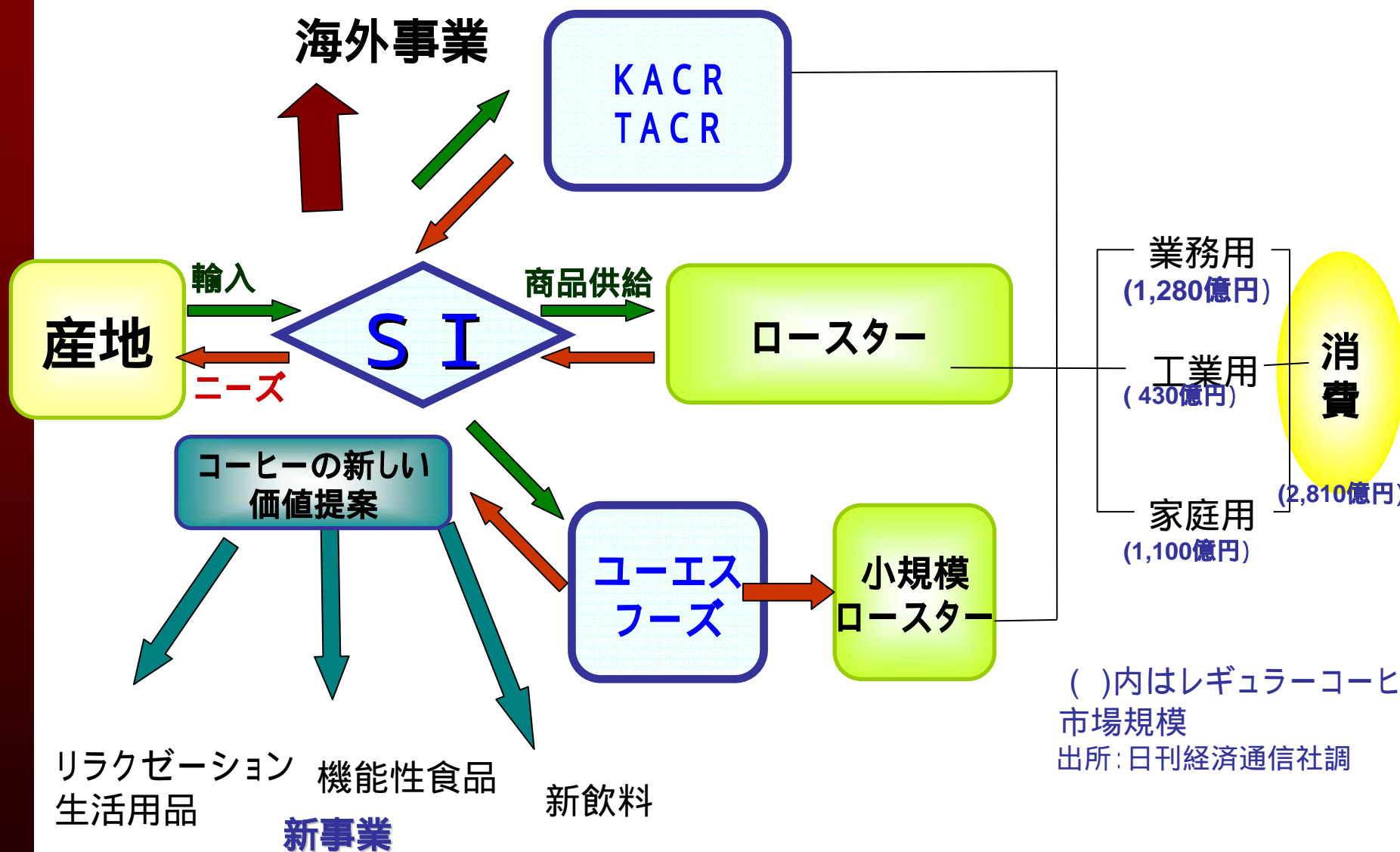
# 26. 飲料事業

\* 数値は単体

(百万円)

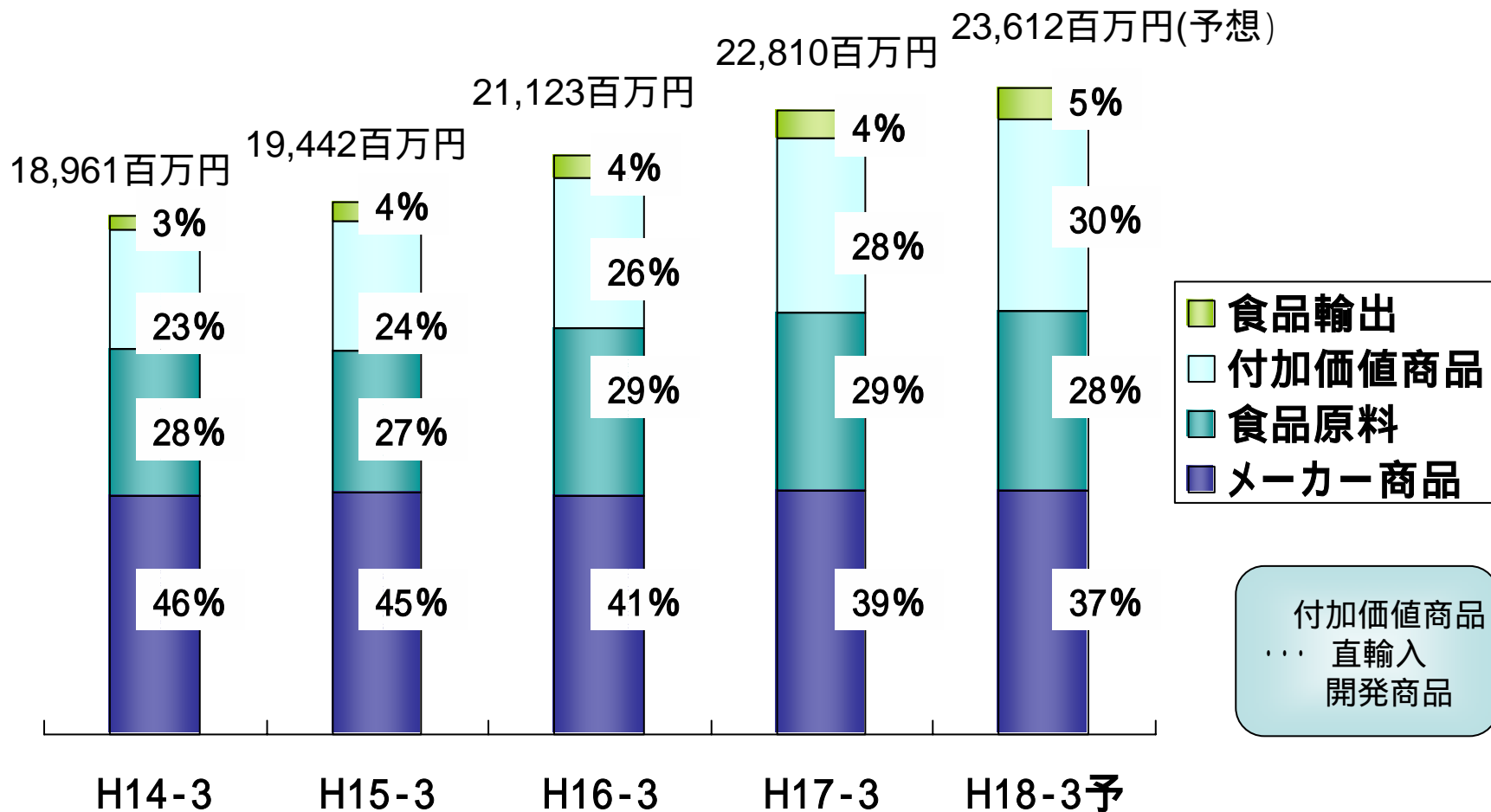


# 27. コーヒー事業の拡がり

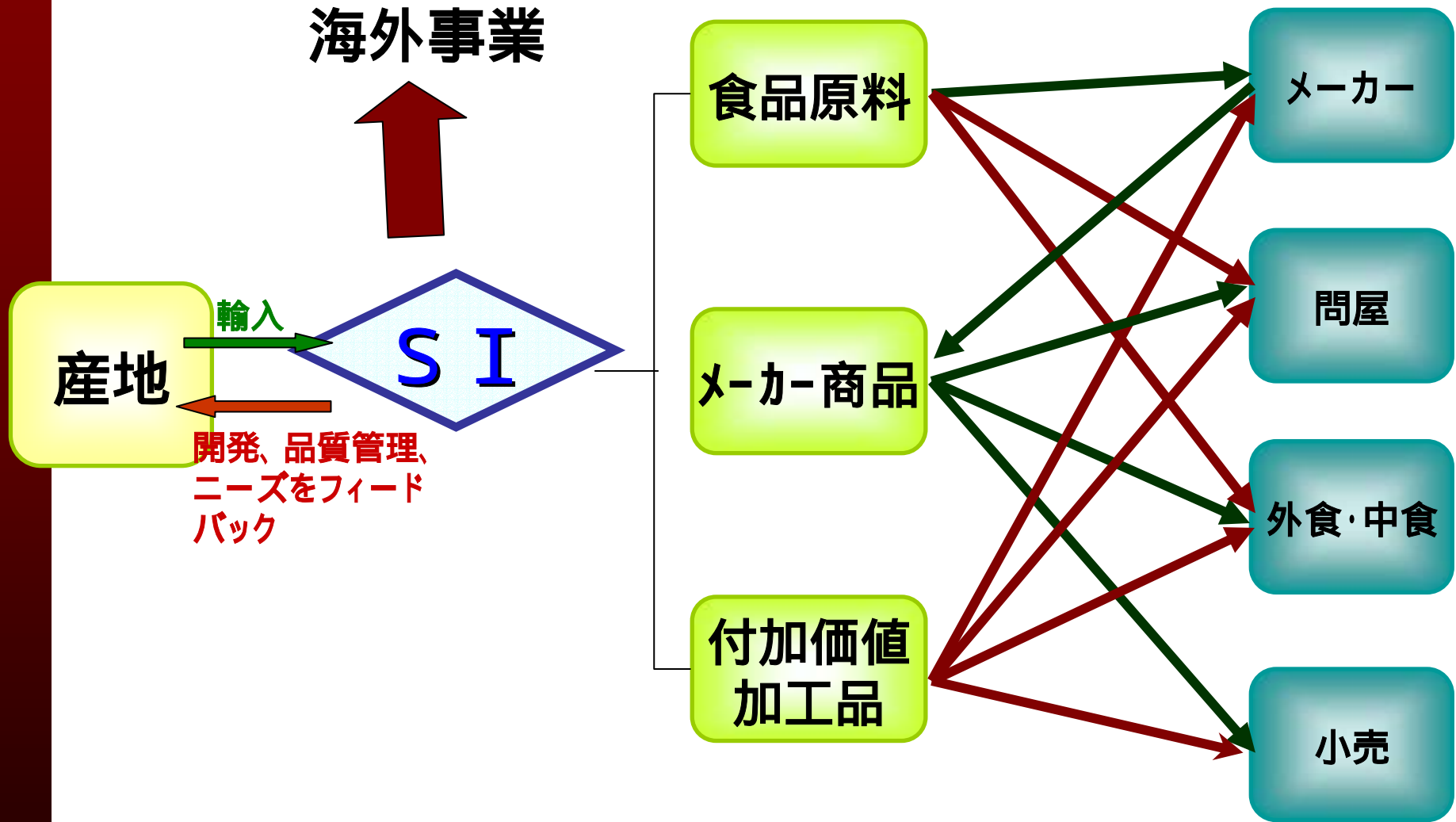


# 28. 食品事業

\* 数値は単体



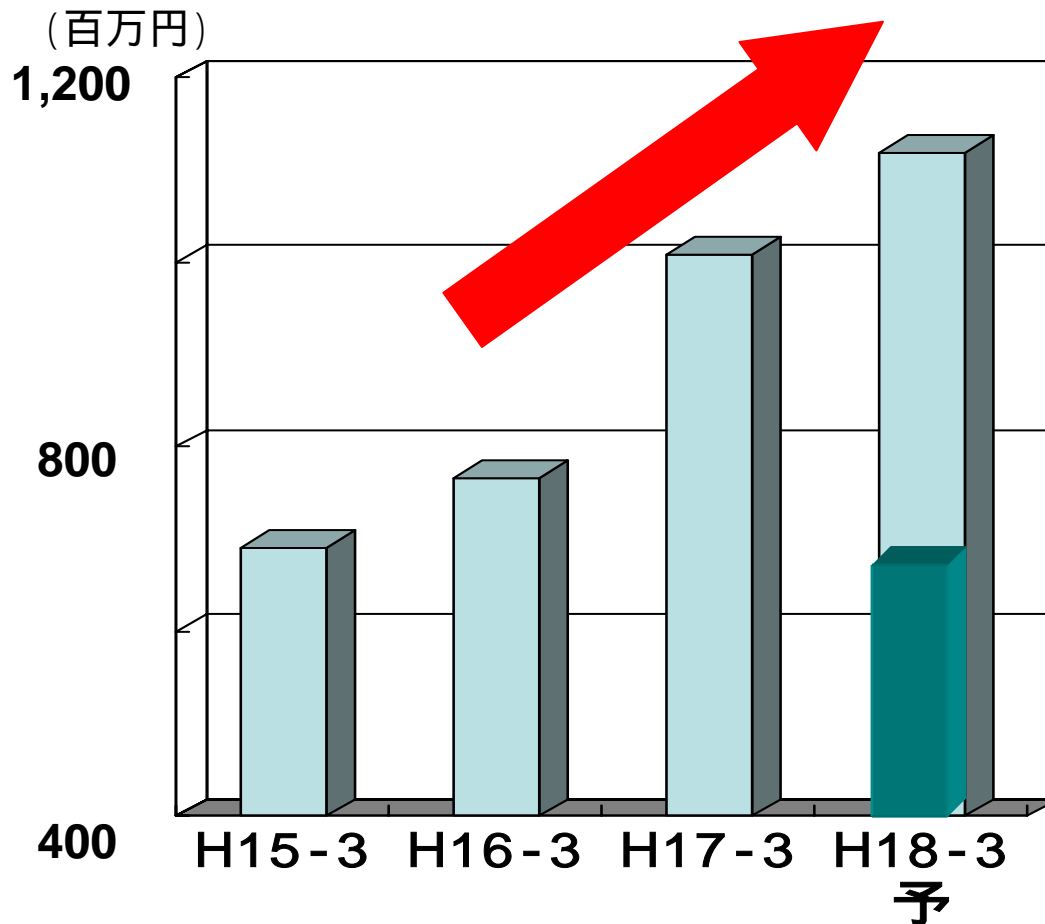
# 29. 食品事業の拡がり





# 30. 食品輸出事業の拡大

## 食品輸出(売上高) 実績と予想



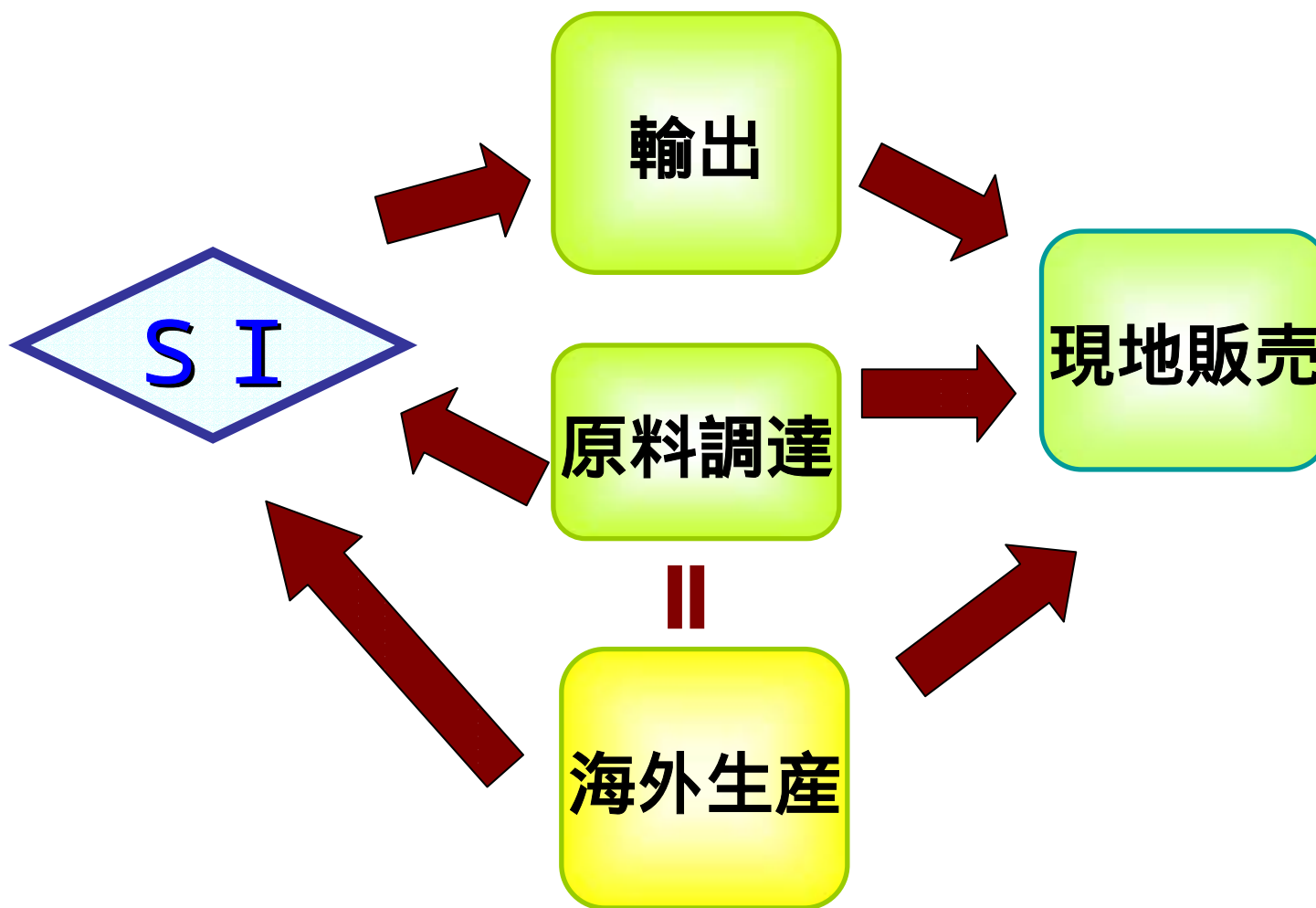
### 食品輸出先

東南アジア  
東アジア  
オセアニア  
北米 等

# 31. 海外事業の拡がり



石光商事株式会社



# 32. 今後の重点施策・当社の課題

## ■ コーヒーの価値提案

嗜好飲料・機能性飲料としての可能性、くつろぎを提供する喫茶店、香りを届けるビーンズショップ  
リラクゼーションの為の生活関連商品等の開発

## ■ マーチャンダイジング機能の充実・強化

当社ならではの価値を持った製品開発を垂直的に行うと同時に、  
既存仕入先とのコラボレーションによる新たな価値提案を行う

## ■ 研究開発室の拡充

基礎研究とポジティブリスト\*に対応する体制作り

\*基準が設定されていない農薬等が一定量を超えて残留する食品の販売等を原則禁止する制度

## ■ 総コストの削減

価格競争力のある体制作り

(平成18年～19年度予定) コンピュータシステムの改革

## ■ 海外事業の拡大

海外での調達、加工、販売活動の統合

# 33. 新・中期経営計画

2006年5月に創業100年を迎えるに当たり、  
新たな中期経営計画を策定。

**2010年3月期 売上 430億円**

**営業利益 17億円**

グループ力の強化により利益体質を上げ、  
配当性向30%の実現に向けて努力する。

## 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

本日は、ありがとうございました。  
今後とも、ご支援・ご理解を賜りますよう、  
宜しくお願い申し上げます。

石 光 商 事 株 式 会 社

経営企画室 久保・前田

TEL : 078-861-7828

FAX : 078-882-1007

URL : <http://www.ishimitsu.co.jp/>

MAIL: [ir@ishimitsu.co.jp](mailto:ir@ishimitsu.co.jp)



**石光商事株式会社**  
S. ISHIMITSU & CO., LTD.